

令和5年度総合型選抜2期

小論文課題

〔設問〕

次の文章を読んで、健康について、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

病気というものはいずれにしろ不愉快なものであるが、最近流行の「健康病」というのは、定義どおり、本人は病気とは思っていないので、それによる被害が潜行するところが恐ろしい。健康病とは、簡単に言ってしまうと、とにかく「健康第一」で、そのことにひたすらかかずらわり、他のことは無視してしまう。それから生じる近所迷惑などお構いなし、という点で「ほとんど病気」の状態であるが、本人はそれに無自覚である場合のことを言う。

たとえば、Aさんは食事に関して極めてうるさい。と言っても味のことでない。何かの本でコレステロールが悪いと読むと、コレステロールを目の仇^{かたき}にして、これはよくないとか、これは食べすぎではない、とかやっているが、今度は、友人からコレステロールも有益であるなどと聞くと、急に不安になってきて、あちこちの栄養学の本を読みはじめる。

(中 略)

昔、ギリシャの時代には、体と心と魂という三つの要素によって、人間はできあがっていると考えられていたという。この考えを援用すると、現代人は「心」に失望しつつ、魂の重要性を再び認識しかけているのだが、そんなものは知らぬので、それをとび越えて、「体」をやたらに大切にするのではなかろうか。

【河合隼雄『こころの処方箋』より抜粋、改変】